

アピール

NPO 法人高槻の高齢社会をよくする会

事務局長 中越 優

実行委員会を代表しまして少し簡単なまとめとそれから提案、アピールをさせていただきますと思います。私ども実行委員会は認知症の人の家族の会、医療、福祉、介護関係者、約 11 の団体で組織され、今年の春からこの企画を立ち上げてまいりました。

更に高槻市、高槻市医師会、市の福祉協議会の後援をいただきまして「認知症の人の暮らしを地域で支える」このことの重要性或いは可能性について色々な立場から実行委員会でも検討を重ね、また今日のフォーラムにつながったことは大きな成果であると思っております。ちなみに今日の参加者は総勢 230 名、その内 3 分の 2、約 150 名は介護関係者であります。続いて NPO ボランティア関係、約 35 名、家族の立場の方 20 数名、その他地域福祉医療、行政、市会議員の関係者が続いています。ご案内は一般市民に公募した形でお知らせしておりません。まあ、言ってみれば関係者、認知症の方と関わっていらっしゃる方と思われる方々にご案内申し上げ、こういう構成になっております。そのためか内容が非常に実質的、具体的なものであったと考えております。

なお、本日のフォーラムは NPO 法人のブロードキャストさんをお願いして、録音録画しております。これは後ほどお貸し出来るかと思えます。それから報告集もまとめたいと思えます。是非皆さんアンケートを書いていただきたいのですが、そのアンケートの報告もその中に含めて後ほど差し上げたいと思えます。

様々な問題や課題が提起されました。提起されただけかも知れませんが、しかし先程山口先生がおっしゃったように、これはスタートであります。色々な立場の人が地域の中でこうして一堂に会したこと、それが大きな事だと思っております。更に次のステップに向かって幾つかの提案をしてみたいと思えます。先ず、

1. 地域で見守りや相談にのれる認知症サポーター養成のさらなる充実を高槻市に要請する。
2. かかりつけ医が認知症相談員として窓口となり、早期対応をサポートできるよう、医師会や高槻市へ提案していく。
3. 徘徊する高齢者を保護し、支えるための徘徊 SOS ネットワークを立ち上げる様、介護関係者警察、消防署、公共交通事業者、地域福祉委員会等々に提案する。
4. 認知症であることを安心して言える地域社会の実現のため、認知症理解

のために学習や予防のための取り組みを保健所や地域包括センターなどに提案する。

5. 認知症本人や家族が孤立、孤独にならぬよう支援する仕組みを推進する。

6. 認知症ケアの質の向上や専門性を高めるための研修を充実する。

以上であります。

最後に認知症の人やその家族を支援するネットワークが必要なことを再確認したいと思います。私たち実行委員会も更に次への飛躍を求めて活動を継続させることを話し合っています。こうした活動は今後更に発展できますよう期待してまとめいたします。

本日は長谷川先生はじめ、パネラーのみなさま、一緒に企画してきました実行委員会および仲間の皆さま、そして最後にこの企画に積極的に参加して下さいました皆さまに心より感謝申し上げます。本日はどうも有り難うございました。